

跡見学園女子大学

観光コミュニティ学部

観光デザイン学科

キャリア教養学科 (橘高校出身)

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

短期大学入学前の3月からです。高校生の時に4年制私立大学への進学を希望していましたが不合格でした。そんなときに母親から聖母に入って3年次編入をする方法もあると教えてもらいました。そこでもう1度挑戦したいと考えるようになったからです。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

入学してすぐに進路希望調査があります。編入希望であれば進路関係の授業の編入クラスでガイダンスがあります。授業が始まるのと同時に編入対策も始まるということです。1年の後期から本格的に編入学希望者向けの授業が開講されます。編入英語や志願理由書の書き方、小論文、面接などの対策をしていきます。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

英語に関しては1年の後期から編入英語のクラスが開講し、大学の過去問を使って文法や長文読解の仕方などの指導を受けました。小論文に関しては1年の後期と2年の前期の編入クラスで小論文課題を1~2週に1回のペースで提出し、添削指導を受けていました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

英語です。英語は1年の前期から、高校生の時のテキストを使いながら単語と文法の基礎固めをし、2年の前期から「やっておきたい英語長文」というテキストを使って長文読解に力を入れ、「ドラゴンイングリッシュ」というテキストを使って英作文対策もしました。最終的に受験すると決めた大学の試験に英語は無かったのですが、努力は無駄ではなかったと思います。受験校の選択肢を広げるために様々な対策をすることを否定しませんが、早めに志望校を絞りその大学の試験に合わせて対策をすることが望ましいです。

Q.聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

コミュニケーション能力の向上と物事をポジティブに考えられるようになりました。聖母のクラスではアクティブラーニングが多いため、自然とコミュニケーションをとる機会が増えます。その中で自分が話す側や聞く側になりますが、その両方のバランスを取ることが重要だと気づき、コミュニケーション能力の向上につながったと思います。また、様々な分野を幅広く学べるため自分の実生活、人生について考えることもありました。それらの学びを通して物事をポジティブに考えられるようになりました。

Q.先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

とにかく数をこなすことと、先生方に頼ることです。小論文、英語、面接などは積極的に数をこなすことが重要だと思います。また、先生を頼って添削をお願いすることや相談することは必要だと感じます。先生方は今までたくさんの編入希望者のサポートをし、合格に導いてきたという経験値があります。先生方のアドバイスを素直に受け入れてまずは行動に移してみてください。行動に移せるかが合格への鍵になると思います。

Q.①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

①編入学試験を受けるための通過点に過ぎないと考えていた。短大での学びには全く期待していなかった。

②自分が予想していたよりも素晴らしい学びや人との出会いがあった。聖母に入学して本当に良かったと思えた。

③編入は普通の受験とは違い情報量も少ない状況での対策だったため、すごく不安だった。

④個人的に小論文は手ごたえを感じたが面接はボロボロだったため、落ちたと覚悟していた。合格がわかった時には進路が決まり一安心した。

Q.これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

これから聖母短大に入学する方に伝えたいことは、社会人になる前に聖母で学ぶという選択をしたことに誇りを持ってほしいということです。入学後、学生生活を通して聖母に入学して良かったと思うことが必ずあると思います。そう思えるように積極的に学ぶ姿勢を持ち、全ての学びに意味づけをすることが重要です。また、聖母短大から編入を目指す方に伝えたいことは、目標を明確にすることです。目標が明確でなく、なんとなくという考えで編入合格は厳しいかもしれません。普通の受験とは違い試験科目は少ないですが、簡単に合格できるほど楽なものではないです。何かを始めることに早すぎるということはないので、編入したい気持ちがあるのなら今すぐにでも行動に移しましょう。